

## 複数の形式段落に関する内容を問う出題で、 各形式段落の内容を正確にとらえる力が求められた

### 共通テスト 第3問 問3

- 問3
- 1 3 段落についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 25。
- ① 宮司たちは、船の飾り付けに悩み、当日になってようやくもみじの葉で飾った船を準備し始めた。  
宇治の僧正は、船遊びの時間が迫ってきたので、折禱を中止し、供の法師たちを庭に呼び集めた。  
良運は、身分が低いため船に乗ることを辞退したが、句を求められたことには喜びを感じていた。  
殿上人たちは、管絃や和歌の催しだけでは後で批判されるだろうと考え、連歌も行っことにした。  
良運のそばにいた若い僧は、殿上人たちが声をかけてきた際、かきこまる良運に代わって答えた。

### 第3回ベネッセ・駿台模試 第3問 問3

- 問3
- 3 段落、4 段落における中宮の様子についての説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 23。
- ① 中宮の御腕をとらえた大納言の行徳に、ぼろぼろと涙が頬を伝っていた。愛情が喜びの表情としてほれ出た。  
秘めてきた恋心を言葉尽くして語り始めた大納言に、動転するあまり身じろぎもせずみじめな気分がふさぎ込んだ。  
大納言からの突然の愛の表明は現実とも思われず、侍女の手前恥ずかしくて消え入りたくなっていた。  
思い余って恋心を示す大納言に、驚きあきれいとわしく思いながらも、ぶしつけに諷めることもできずにいた。  
思いがけない大納言からの愛の告白に驚きつつ嬉し涙が湧くが、それを抑えて言い知れぬ不安な思いを語り続けた。

両者の問題とも、傍線部が設定されておらず、複数の形式段落の内容について正しい理解を問う出題であった。設問で指定された形式段落に書かれている内容を細部まで正確にとらえる力、本文と選択肢の内容を正しく照合して正誤を判断する力が求められた。